

COMPANY PROFILE

株式会社ジーテクト



本社 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-20 大宮JPビルディング18階
<https://www.g-tekt.jp>
 証券コード:5970



株式会社ジーテクト



Shape the Future

G-TEKT Philosophy

●経営理念

社是

人間性尊重

技術革新

堅実経営

行動指針

愛情と相互信頼をモットーに自己啓発に努めよう
先進技術を追求し良質廉価な製品を提供しよう
自主性をもち英知と機敏さで社会に貢献しよう

●Vision

情熱と革新を融合させ
人とクルマと地球のより良い未来をかたちづくる

Top Message

挑戦と成長

ジーテクトは安全で地球環境に優しい自動車づくりを支えています。
大変革期にある自動車市場において成長し続けるため、
時流を先読みし、常に攻めの姿勢で挑戦していきます。

代表取締役社長 社長執行役員

高尾 直宏



人とクルマと地球の 未来の姿をかたちづくる

当社の主要製品である車体部品はホワイトボディと呼ばれ、外板パネルの下にあるため、外から見ることはほとんどできません。しかし、このホワイトボディは、クルマの全ての構成部品を支える重要な基幹的役割を担っています。

当社は軽量化、強度や剛性面でお客様の期待を超える製品で、世界のクルマづくりを支えています。

ホワイトボディは車両重量のおよそ3割～4割を占めているといわれ、車両の燃費向上に貢献するための軽量化が求められています。一方で、ボディの高い強度と剛性は、壊れにくさによる衝突時の乗員の保護性能や、変形のしにくさによる車両の操縦安定性や乗り心地の向上において、重要な役割を果たします。

近年、厳格化される衝突時の規制対応や軽量化を高次元で両立するため、当社は高張力鋼板やホットスタンプ、そして加工難度の高いアルミ材のプレス加工・組立技術のノウハウを活かし、高品質な製品を大量生産しています。また、部品単体に留まらない車体一台分での衝突解析技術を活用した商品提案により、お客様の頼れるパートナーとして、世界に革新的な製品を生み出し続けています。

ジーテクトは人とクルマと地球の未来の姿を描きながら、モビリティ社会に貢献し、リードする存在であり続けます。

Technology



プレス技術

冷間材から熱間材、高張力鋼板、アルミ材などの成形加工を行っています。プレス加工に必要な金型も自社で設計し製作しています。



組立技術

スポット溶接をはじめとする溶接技術を有し、組み立てラインの企画から構築まで行っています。

ものづくり現場

ものづくりの中心は製造現場です。生産活動を行っていく中で、より良い生産方法を探求し、現場と技術が一体となり、技術力を培ってきました。現場での小さな困りごとの解消から、革新的な技術の導入による高効率な生産現場をつくり上げ、ものづくりに磨きをかけていきます。



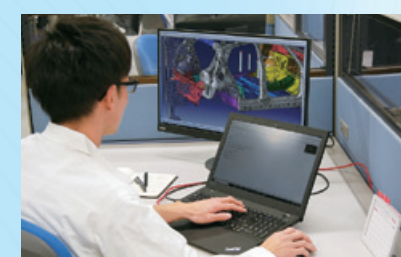
品質保証

お客様が求める品質の確保や地球環境に優しい事業運営を実現するため、自動車産業に特化した品質マネジメントシステムの国際規格認証(IATF16949)を取得し、世界で通用する体制を構築しています。これにより、生産活動において品質保証に貢献しています。また、リアルタイムで全拠点の品質状況を監視し、予知予防による取り組みを推進しています。



製品設計

ゲストエンジニアとして自動車メーカーの設計段階から参画し、製品設計に携わっています。自動車メーカーと肩を並べる車体一台構造解析技術により、様々な要望に応える力があり、設計段階から関わることで、量産においてより生産のしやすい製品づくりを提案しています。また、グローバルな営業とエンジニアリング体制により、お客様のニーズを瞬時に把握し、最適な技術提案につなげています。



EV関連事業へ

地球規模の気候変動により各国の環境規制などが厳しくなり、今後はEVへのシフトが進んでいきます。ジーテクトはこの変化に対応すべく車体骨格部品だけではなく、EV関連製品にも取り組み、人とクルマと地球の未来をかたちづくります。

EVでは乗員やバッテリーの保護、航続距離を伸ばすために、より軽量で剛性の高い車体骨格が求められます。高精度な衝突シミュレーションを駆使し、EVに最適な車体構造を提案し、それに対する生産技術開発、大量生産まで行います。また、鉄・アルミを柔軟に組み合わせ、様々なサイズに対応できるバッテリーハウジングや、モーターコア、そのほかにもEV関連製品に挑戦していきます。



History



1952年
旧 高尾金属工業

1953年
旧 菊池プレス工業

2011年 ジーテクト



GLOBAL & GENBA
TECHNOLOGY
KIKUCHI & TAKAO

ジーテクトの前身となる2社、菊池プレス工業株式会社と高尾金属工業株式会社は、東京都三鷹市、和歌山県田辺市のそれぞれの地で小さな町工場として産声を上げました。両社は日本のモータリゼーションの潮流を捉え事業を拡大し、1980年代には初の海外進出となる北米にて、現地生産を開始しました。その後はそれぞれ積極的に世界へ挑戦し、2011年の合併により株式会社ジーテクトとして新たに歴史を刻み始め、さらなる進化を続けています。

At a glance

ジーテクト発足年

2011年

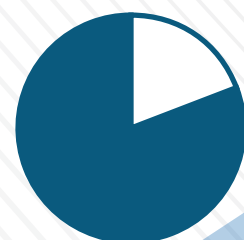
進出国数

12カ国



海外売上高比率

約80%



CO₂排出量削減目標

(Scope1+Scope2)

2030年度 50%削減 ※2013年度比

2040年度 100%削減 ※2013年度比

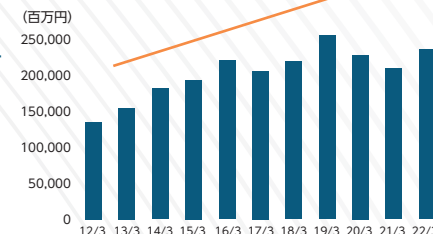
(Scope1+Scope2+Scope3)

2050年度 カーボンニュートラル

売上高推移

2011年度と比べて

約2倍



拠点数

30工場
5 R&D



※2024年度末時点

従業員数
(連結)

約10,000名



平均勤続年数
(国内)

16年



主要顧客

本田技研工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社SUBARU、マツダ株式会社、日産自動車株式会社、スズキ株式会社、ジャスコ株式会社、Jaguar Land Rover、BMW



一人ひとりが輝ける「ひろば」で、未来への夢を実現する



Sustainability

ジーテクトの目指す、人とクルマと地球のより良い未来のために、事業活動を通じた持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めます。



環境保全への取り組み

(自然由来エネルギー、太陽光パネルの導入など)



安全で働きやすい環境づくりへの取り組み

(無人ラインの設置、製品積載や品質検査の自動化など)



カメラによる品質検査を行い、信頼性を高めています。



積載作業は一部ロボットが担っています。

地域社会との取り組み

(各拠点での社会貢献活動や独自の取り組みなど)



小学生向け工場見学会 (日本)



CPAP (人工呼吸器) の製作 (イギリス)



植樹活動 (インド)